

今週の話題

欧州関連、2018年の主な予定

**伊総選挙**：EU懐疑派の五つ星運動と与党・民主党が支持率トップを競っています。五つ星が第一党となっても議会で過半数となる可能性は低く、統合通貨ユーロ、EUからの離脱が実現する可能性は低いと思われます。また、当該選挙や独州選挙などから測られる、EU懐疑派の勢力動向にも注目です。

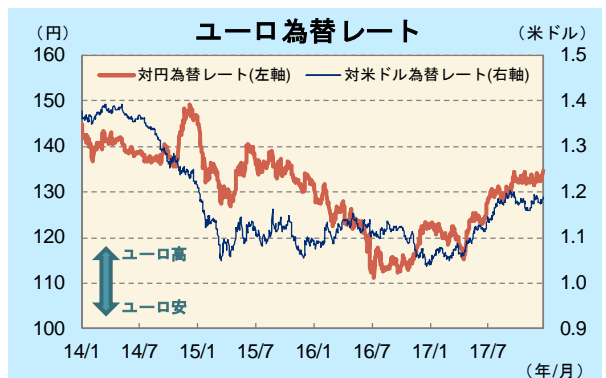
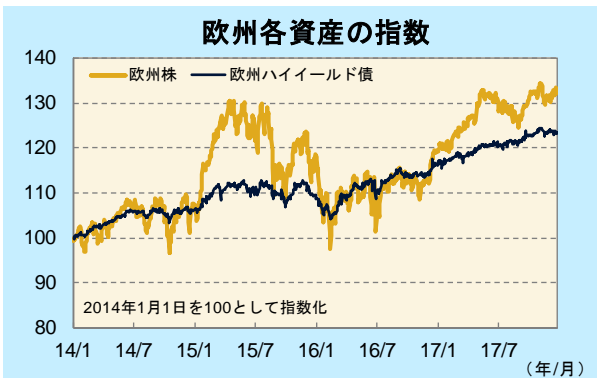
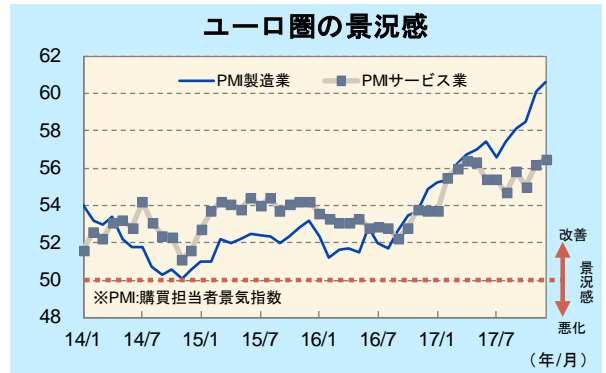
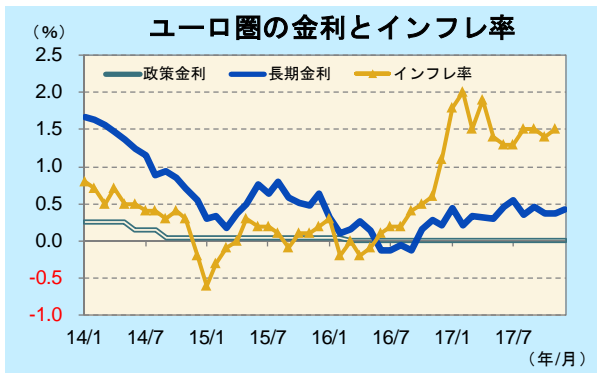
**Brexit交渉**：英国のEU離脱に伴う清算金の交渉が合意に達し、通商協定など経済活動に関連した交渉へ進展する方向です。18年における交渉の状況によって、19年3月の、英国EU離脱の形態が大きく影響されるため、地味ながらも重要な1年になります。

◇欧州関連の2018年の政治・国際会議・金融政策会合の日程

	主な選挙・政治日程等	主な国際会議日程等	金融政策会合
1月	フェロ/大統領選挙(12-13, 26-27) フィンランド/大統領選挙(28) キプロス/大統領選挙(28)	EU議長国: フランス	ECB理事会(25)
2月		EUサミット(非公式, 23) Brexit関連EU一般理事会(27)	BOE金融政策委員会(7-8)
3月	伊/総選挙(4? or 11?) 露/大統領選挙(18)	G20財務相・中銀総裁会議(ブルゲンブアス/アリス)(19-20) Brexit関連EU一般理事会(20) EUサミット(22-23)	ECB理事会(8) BOE金融政策委員会(21-22)
4月	ハンガリー/総選挙	IMF・Spring Meeting(米/ワシントン)(20-22) G20財務相・中銀総裁会議(米/ワシントン)(20) EBRD年次総会(ヨルダン/死海)(8-10)	ECB理事会(26)
5月	英/統一地方選挙(3) フランス(5/16-6/14)	Brexit関連EU一般理事会(14)	BOE金融政策委員会(9-10)
6月		G7サミット(加/ル・マノワール/リジャクエー)(8-9) Brexit関連EU一般理事会(26) EUサミット(28-29)	ECB理事会(14) BOE金融政策委員会(20-21)
7月	スペイン/総選挙	EU議長国: オーストリア	ECB理事会(26)
8月			BOE金融政策委員会(1-2)
9月	スウェーデン/総選挙(9) ドイツ/州選挙(ハイエルン, ユッセン)		ECB理事会(13)
10月	インド/総選挙 ルセブルグ/総選挙	IMF・世銀年次総会(インド/ネアハリ)(8-14) EUサミット(18-19)	BOE金融政策委員会(12-13) ECB理事会(25)
11月	アイルランド/大統領選挙	G20サミット(トルコ/ブサダック/イスタニス)(30-1)	BOE金融政策委員会(7-8)
12月		EUサミット(13-14)	ECB理事会(13) BOE金融政策委員会(19-20)

※略称は次の通り、EU: 欧州連合、IMF: 国際通貨基金、EBRD: 欧州復興開発銀行、ECB: 欧州中央銀行、BOE: イングランド銀行(英中銀)、出所: 各種報道から17年12月21日まで取得できた情報よりアムンディ・ジャパン作成

経済・市場データ



期間： 景況感は2014年1月～2017年12月、インフレ率、金利は2014年1月～2017年11月（金利は月末値で、最新値は2017年12月21日現在）。  
 欧州各資産の指数とユーロ為替レートは2014年1月1日～2017年12月21日で日次。  
 出所： ブルームバーグのデータを基に、アムンディ・ジャパン株式会社が作成。  
 長期金利： ユーロ国債利回り(10年)、政策金利： 定例買いオペ最低応札金利、  
 欧州株： STOXX欧州600指数、欧州ハイイールド債： BofAML・ヨーロッパ・ハイ・イールド・コンストレイント・インデックスを使用。  
 いずれもユーロベース、トータルリターン。データの権利については、最終ページの【当資料で使用した指数について】をご確認ください。

上記は、過去のデータに基づくものであり、将来を示唆・保証するものではありません。

最終ページの「当資料に関してご留意いただきたい事項」をご覧ください。

## 当資料に関してご留意いただきたい事項

### 投資信託に係るリスクについて

投資信託は、値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等を要因として、基準価額の下落により損失が生じ、投資元金を割り込むことがあります。したがって、元金が保証されているものではありません。また、投資信託は預貯金とは異なります。

また、投資信託は、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なります。お申込みの際は投資信託説明書(交付目論見書)・契約締結前交付書面をよくご覧ください。

### 投資信託に係る費用について

投資信託では、一般的に次の手数料・費用をご負担いただきます。その料率は投資信託によって異なります。さらに、下記以外の手数料・費用をご負担いただく場合、一部の手数料・費用をご負担いただかない場合もあります。詳細は、投資信託説明書(交付目論見書)・契約締結前交付書面をご覧ください。または、販売会社へお問い合わせください(カッコ内には、アムンディ・ジャパン株式会社が設定・運用する公募投資信託のうち、最も高い料率を記載しています。)

投資信託の購入時:購入時手数料[最高料率3.78%(税込)]

投資信託の換金時:信託財産留保額[最高料率0.3%]

投資信託の保有時:運用管理費用(信託報酬)[実質最高料率2.2312%(税込)]、監査費用

運用管理費用(信託報酬)、監査費用は、信託財産の中から日々控除され、間接的に投資者の負担となります。その他に有価証券売買時の売買委託手数料、外貨建資産の保管費用、信託財産における租税費用等を間接的にご負担いただきます。また、他の投資信託へ投資する投資信託の場合には、当該投資信託において上記の手数料・費用が掛かることがあります。

※上記の費用の合計額については保有期間等に応じて異なりますので、表示することはできません。

### <ご注意>

上記に記載しているリスクや費用につきましては、一般的な投資信託を想定しております。投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、お申込みの際には、事前に投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

アムンディ・ジャパン株式会社

金融商品取引業者:関東財務局長(金商)第350号

加入協会:一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、日本証券業協会、

一般社団法人 第二種金融商品取引業協会

### 【当資料のご利用にあたっての注意事項等】

当資料は、アムンディ・ジャパン株式会社(以下、弊社)が投資家の皆さまに情報提供を行う目的で作成したものであり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。当資料は法令に基づく開示資料ではありません。当資料の作成にあたり、弊社は情報の正確性等について細心の注意を払っておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。当資料に記載した弊社の見通し、予測、予想、意見等(以下、見通し等)は、当資料作成日現在のものであり、今後予告なしに変更されることがあります。また当資料に記載した弊社の見通し等は将来の景気や株価等の動きを保証するものではありません。

### 【当資料で使用した指数について】

- BofAMLの各インデックスは、メルリランチ・ピアース・フェナー・アンド・スミス・インコーポレーテッドが発表しており、著作権はメルリランチ・ピアース・フェナー・アンド・スミス・インコーポレーテッドに帰属しております。
- Stoxx Europe 600はSTOXX Limitedが発表しており、著作権はSTOXX Limitedに帰属しています。
- 当資料中に引用した各インデックス(指数)の著作権・知的財産権およびその他一切の権利は、各インデックスの算出元に帰属します。また各インデックスの算出元は、インデックスの内容を変更する権利および発表を停止する権利を有しています。